

春日大社 感謝・共生の館

研修のご案内

春日大社では、千三百年のはらかな歴史に培われた

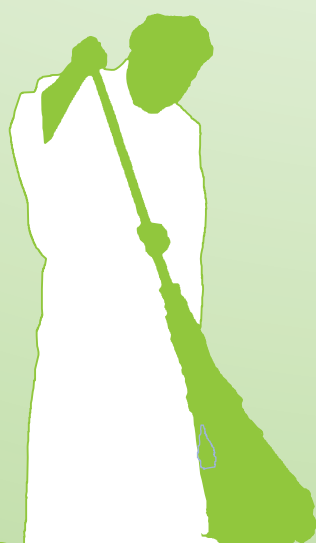
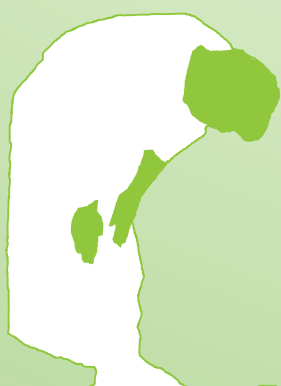
すばらしい伝統、文化、自然豊かな春日の社の中で、

日本人の「こころ」を学び、

日本人の「原点」を肌で知る研修を通して、

日本人本来の生き方・誇りに目覚めていただく、

他では経験のできない内容が盛り込まれた研修を行っています。



日本人本来の生き方に目覚める

経済のグローバル化や地球温暖化など、生活環境が激変する中で、個人はもとより企業・組織が継続してゆくには、大局観、先見性、そして環境変化に即応できる柔軟性が必要となります。

そうしたものは現状の把握の中で対応できるものと、更にプラスαの要素が必要となります。

その一つが神社にあると確信します。神社は決して古い場所・無用なところではありません。日本人にとって欠けているもの、忘れていることに気づくことができる大切な場所です。

「温故知新」という言葉の通り、日本人が歩むべき道はすでに敷かれており、その道への軌道修正を行い、自らに誇りをもてる日本人に目覚める、それが**春日大社研修**です。



行儀・作法

美しい立ち居振る舞いにはちゃんとした決まり事・ルールがあります。この研修では「作法」に長けた神職が講師となって、日本人として必要な行儀作法の基本を伝授します。玉串拝礼・神社参拝の作法等は



全員で食前・食後感謝の詞を唱える

協調性・結束力

普段職場で共に働く、また別々の所で働く人々が寝食を共にし、共通体験をすることによって、お互い気心が通じ合う協調性が培われ、強い結束力が生まれます。



早朝の清掃風景



国の繁栄と国民の幸せを念じ、平安時代から連綿と行われている旬祭(しゅんさい)に参加

瞑想・鎮魂

瞑想では、御神気の漂う夜の御神前、雑踏・雑音のない時空の中に佇み、感覚を研ぎ澄ますことによって普段気づかない自身の感性の甦りが実感され、五感の大切さに気づくことができます。

境内61社の摂末社を順次お参り



御神前に奏上する祝詞（のりと）の作法を学ぶ



上級神職による講話の拝聴



日本の歴史・伝統に関わる講話・実習を通じ、日本人としての社会的責任・倫理観を明らかにします。

講話・実習



お辞儀（揖）の稽古

有用にそのまま活用できます。

昼餉（ひるげ）を兼ねて餅つきの実習。皆の気持ちが一になる。



プロジェクター映像を通し春日に伝わる数々の儀式祭典を学ぶ

夜の御社頭・直会殿（なおらいでん）での瞑想・鎮魂（ちんこん）



修了奉告祭で姿勢を正し手を合わせる研修生



修了奉告祭直後、皆充実した凛々しい顔つきでの記念撮影



研修のまとめとなる修了報告祭への参列。館を出発した研修生は隊列を組み、整然と境内を移動し本殿へ。御神前では最高の作法で以て拝礼を行い、この二日間の感謝の誠を捧げ、併せて自らの向上と、世のため人のために努めてゆくことを誓願します。

修了奉告祭



御神前に響き渡る銅鑼の音に耳を澄ませ集中していると、溢れんばかり心を占めていた雑念がいつの間にか消え失せ、透明な感覚の中に時間の感覚も薄らいでゆきます。

研修 指標

指標（１） 見えないものを信じる。

目に見えないから神仏は存在しないという人がいますが、そうではなく、神様・仏様はいらっしゃいます。それが実感できるのが御神気に満ちた神社です。大切なものは目に見えない。これが真実であります。この世の中を動かしているものは実際にはお金や武器でも、その内面にあるのは、それを行う人の心、つまり目に見えない心の世界です。友情・信頼・思いやり・憐み・優しさなど、人として正しい心のあり方を、神社研修を通じて培っていただきます。

指標（２） 思いやりの心を育むこと。

神様への奉仕の姿は相手に対する思いやりの結晶。何百年と変わることなく、誠心誠意まごころを尽くして奉仕される儀式に参列し肌で感じることで、日本人本来の思いやりの心に気づくことができます。

指標（３） 本物に触れる。

本物と偽物との違いは？それは続くか続かないかの違いでもあります。春日大社は創建より1250年という年月を途絶えることなく続いてきたお社です。日本人のいのちが育まれてきた緑豊かな春日の自然、連綿として続く春日の儀式、献納された数々の国宝・重要文化財に直に触れることにより、本物が持つすばらしさ、そして真贋を見極める能力を培います。



感謝・共生の館の使用・研修・学びの会 お申し込み・お問い合わせは

〒630-8212 奈良市春日野町 160 春日大社 広報研修部
TEL.0742-22-7788 FAX.0742-27-2114 URL <http://www.kasugataisha.or.jp>